

施工パッケージ型積算方式試行実施要領

平成 28 年 3 月 苫小牧港管理組合

1 目的

施工パッケージ型積算方式（以下、「本方式」という）は、施工パッケージ単価※を用いて積算を行うものであり、積算業務の合理化等を図ることを目的とする。

※「施工パッケージ単価」とは、請負代金の総額を構成する基本区分ごとのデータベース化された単価をいう。

2 対象

本方式の対象は、平成 28 年 4 月 15 日以降に入札を行う、原則全ての工事とする。

なお、本方式を実施する入札は公告に「施工パッケージ型積算方式」と記載する。

3 留意点

本方式は、積算方法の変更を行うものであり、入札・契約方法を変更するものではない。

従って、本方式における入札・契約に関する手続きは従来どおりである。

なお、本方式の実施にあたっては、次の点に留意すること。

(1) 積算

施工パッケージ単価が設定されるものは、基準書等に基づき積算する。

なお、「基準書等」とは、次に示すのもので、これらに他の基準書等を適用すると記載されていない

る場合は、これに従うこと。

- ア 土木工事積算要領
- イ 土木工事積算要領（下水道編）
- ウ 土木工事積算基準
- エ 土木工事積算基準（電気通信・機械設備編）
- オ 土木事業委託積算基準
- カ 土木工事積算基準（下水道編）
- キ 漁港関係工事積算基準

上記のアからキまでは、全て「北海道建設部（平成 27 年 10 月）」が発刊したものである。

(2) 図面

図面は従来どおりである。

(3) 請負代金の変更

請負代金の変更は従来どおりである。